



2024年7月23日

各位

会社名 フィットイージー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 國江 仙嗣  
(コード番号：212A 東証スタンダード・名証メイン)  
問合わせ先 常務取締役経営管理本部長 藤原 祐次  
TEL. 058-215-8744

**東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場への上場に伴う  
当社決算情報等のお知らせ**

当社は、本日、2024年7月23日に東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2024年10月期（2023年11月1日から2024年10月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであり、また最近の決算情報等については別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	2024年10月期 (予想)			2024年10月期 第2四半期累計期間 (実績)		2023年10月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高	6,064	100.0	35.3	3,110	100.0	4,481	100.0
営業利益	1,487	24.5	33.6	899	28.9	1,113	24.8
経常利益	1,458	24.0	33.2	892	28.7	1,094	24.4
当期(四半期) 純利益	930	15.3	28.7	588	18.9	722	16.1
1株当たり当期 (四半期)純利益	61円22銭			39円38銭		48円36銭	
1株当たり配当金	12円63銭			0円00銭		-	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。  
2. 2023年10月期(実績)及び2024年10月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 2024年10月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(900,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。  
4. 当社は、2024年1月23日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っておりますが、上記では2023年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

## 【2024年10月期業績予想の前提条件】

(当社全体の見直し)

当社は、「FIT YOUR STYLE」の企業理念の下、運動を続けることの重要性・人々の新たなる生活基準に沿った生活スタイルを提案するために、フィットネストレーニング機器のみならずアミューズメント要素を取り入れたアミューズメントフィットネスクラブ「フィットイージー」を2024年4月末時点で日本全国に155店舗(直営24店舗、フランチャイズ・チェーン(以下、FC)131店舗)を事業展開しております。

「楽しみながら健康になる」の実現を目指し、アミューズメントフィットネスクラブとしてのノウハウを活かした店舗開発及びサービス開発、サードプレイス(自宅でもない職場でもない第三の場所)となる店舗運営や企画、FC展開を主たる業務とした「フィットネスクラブ運営事業」を単一セグメントとしております。

当社が属するフィットネスクラブ業界におきましては、異業種からの新規参入や同業種の新業態による低価格帯ジムの出店など24時間型フィットネスジムは引き続き増加傾向にあります。しかし、当社が運営するFIT-EASYは、フィットネスマシン機器のみならず、「スタジオ」、「高濃度酸素ルーム」、「ゴルフ」、「ラウンジ」、「サウナ」、「ドライブシミュレーター」、「セルフエステ」、「テニス」、「フットサル」と様々なサービスを展開し、150店舗を超える出店で培った「楽しみながら健康になる」を掲げたアミューズメントフィットネスクラブとしてのノウハウを活かした店舗開発及びサービス開発、サードプレイス(自宅でもない職場でもない第三の場所)となる店舗運営により、他社とは異なる差別化によりフィットネスクラブ業界でもシェア獲得を維持し続けております。

また当社では2023年4月より会員ファーストの新サービスとして「オピニオン・ボックス」、「入会・退会アンケート」を展開いたしました。全店舗の会員様の声をフランチャイズ本部である当社がすべて把握することで直営店舗・フランチャイズ店舗の店舗クオリティ維持・原則24時間以内の改善に活用し、より良いフィットネスクラブへと成長していくという決意を込めた展開をしております。

このような経営環境の中、当社は2022年9月に100店舗を達成後も新規出店を続け、また効果的なキャンペーンの実施や会員満足度の向上への取り組みを強化した結果、店舗当たり会員数が堅調に推移したこと等により、2024年4月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

### ■フィットイージー店舗数及び会員数(直営店・FC店 合計)

店舗数(2024年4月30日):155店舗

会員数(2024年4月30日):114,703人

以上の結果、2024年10月期第2四半期累計期間(2023年11月1日~2024年4月30日)の実績は売上高3,110百万円、営業利益899百万円、経常利益892百万円、四半期純利益588百万円であり、2024年10月期の業績予想は売上高6,064百万円(前期比35.3%増)、営業利益1,487百万円(同33.6%増)、経常利益1,458百万円(同33.2%増)、当期純利益930百万円(同28.7%増)を見込んでおります。

なお、2024年10月期における当社の通期業績予想については、2023年11月から2024年4月までの月次確定損益に、その時点における2024年5月から2024年10月までの見込を合算して算定しております。

#### (売上高)

当社は、フィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていませんが、同一セグメントの事業区分別に「直営売上」「運営売上」「開発売上」としてしております。

#### ①直営売上

直営売上とは、当社の直営店舗における会費収入であり、ストック型収入モデルとなります。

よって、既存店舗は会員数及び会費単価について、当期の実績を基準に店舗別に売上高を算出しております。

新規店舗は出店計画を基準に、立地条件から想定される会員数と当期の会費単価の実績を乗じて店舗別に売上高を算出しております。

この結果、直営売上は前期比9.4%増となります。

なお、2024年5月以降の直営店舗出店計画は2店舗となります。

#### ②運営売上

運営売上とは、FC店舗におけるFC加盟店からのロイヤリティ収入、代行手数料収入等であり、ストック型収入モデルとなります。

よって、既存店舗は会員数及びロイヤリティ単価等について、当期の実績を基準に売上高を算出しております。

新規店舗は出店計画を基準に、立地条件から想定される会員数と当期のロイヤリティ単価等の実績を乗じて店舗別に売上高を算出しております。

この結果、運営売上は前期比 45.4%増となります。

なお、2024 年 5 月以降の F C 店舗出店計画は 21 店舗となります。

### ③開発売上

開発売上とは、F C 店舗新規出店時におけるトレーニングマシンや店舗設備等の物販、直営店舗から F C 加盟店への店舗売却であり、フロー型収入モデルとなります。

1 店舗新規出店するのに必要なトレーニングマシンや店舗設備、システム導入費等を前期及び当期の実績を基準に個別に設定し、これに出店計画を乗じて算出しております。

この結果、開発売上は前期比 44.5%増となります。

なお、2024 年 5 月以降の F C 店舗出店計画は 21 店舗となります。

以上の結果、2024 年 10 月期における当社の売上高は 6,064 百万円（前期比 35.3%増）を見込んでおります。

### （売上原価、売上総利益）

売上原価については「直営売上」「運営売上」「開発売上」の区分ごとに算定しております。

#### ①直営売上に対する売上原価

主に各店舗の人件費、地代家賃、減価償却費となります。

人件費は採用計画を基準、地代家賃は各店舗の契約状況を基準、減価償却費は償却予定表を基準にそれぞれ店舗別に算出しております。

直営店 3 店舗の新規出店に伴い、直営売上（前期比 9.4%増）に対する売上原価は前期比 9.0%増となります。

#### ②運営売上に対する売上原価

主にロイヤリティ等、売上原価の計上がないものとなりますが、店舗運営における代行手数料等について、前期及び当期の実績を基準に、既存店及び出店計画を加味した F C 店舗総数を乗じて算定しております。

F C 店 38 店舗の新規出店に伴い、ロイヤリティ等の売上原価の計上がない売上が増加した事により、運営売上（前期比 45.4%増）に対する売上原価は前期比 36.5%増となります。

#### ③開発売上に対する売上原価

開発売上の算出と同様にトレーニングマシンや店舗設備について、個別に想定原価を設定し、これに出店計画を乗じて算出しております。

F C 店 38 店舗の新規出店及び直営店舗から F C 加盟店への店舗売却 6 店舗に伴い、開発売上（前期比 44.5%増）に対する売上原価は前期比 47.1%増となります。

以上の結果、2024 年 10 月期における当社の売上原価は 3,865 百万円（前期比 32.3%増）、売上総利益は 2,199 百万円（前期比 40.9%増）を見込んでおります。

### （販売費及び一般管理費、営業利益）

当社の販売費及び一般管理費は、主に人件費、広告宣伝費により構成されております。

人件費については、既存人員の昇給を考慮し、新規人員は各部門単位に必要な人材・必要なスキルを織り込んだ採用計画に基づいて、採用一人当たり人件費を積み上げて算出した結果、304 百万円（前期比 49.7%増）を見込んでおります。

広告宣伝費については、新規会員獲得を目的とした集客及び認知度向上のための WEB 広告や、レーシングチーム「TOYOTA GAZOO Racing」、プロサッカークラブ「F C 岐阜」とのスポンサー契約等、広告宣伝費計画に基づいて算出した結果、147 百万円（前期比 131.5%増）を見込んでおります。

以上の結果、販売費及び一般管理費は 711 百万円（前期比 59.1%増）、営業利益は 1,487 百万円（前期比 33.6%増）を見込んでおります。

### （営業外損益、経常利益）

営業外収益は、自動販売機手数料、受取利息等を計上しており、12 百万円（前期比 5.2%減）を見込んでおります。

営業外費用は、上場関連費用、支払利息等を計上しており、41 百万円（前期比 31.7%増）を見込んでおります。前期比で大幅な増加の要因は、上場関連費用 23 百万円を見込んだことによるものとなります。

以上の結果、2024 年 10 月期における当社の経常利益は 1,458 百万円（前期比 28.7%増）を見込んで

おります。

(特別損益、当期純利益)

特別利益および特別損失は見込んでおりません。

当社は第3四半期に株式上場を予定しているため、増資に伴う税金費用の増加を第3四半期以降に見込んでおります。法人税等は実効税率を乗じた金額を計上しておりますが、税効果会計の影響や政策減税の活用等により、実際は理論値とは異なる数字となることが想定されます。

以上の結果、2024年10月期における当社の当期純利益は930百万円(前期比28.7%増)を見込んでおります。

**【業績予想に関するご留意事項】**

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

## 2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月23日

上場会社名 フィットイージー株式会社 上場取引所 東・名  
コード番号 212A URL http://fiteasy.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國江 仙嗣  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 藤原 祐次 TEL 058 (215) 8744  
四半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年10月期第2四半期の業績 (2023年11月1日～2024年4月30日)

## (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	3,110	—	899	—	892	—	588	—
2023年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	39.38	—
2023年10月期第2四半期	—	—

- 2024年10月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
- 当社は、2023年10月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年10月期第2四半期の数値及び2024年10月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
- 当社は、2024年1月15日開催の取締役会決議に基づき、2024年1月23日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2024年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	4,630	1,662	35.9
2023年10月期	4,106	1,074	26.2

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 1,662百万円 2023年10月期 1,074百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期 (予想)	—	—	—	12.63	12.63

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年10月期の業績予想 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,064	35.3	1,487	33.6	1,458	33.2	930	28.7	61.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は6ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期2Q	14,940,000株	2023年10月期	14,940,000株
② 期末自己株式数	2024年10月期2Q	—株	2023年10月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期2Q	14,940,000株	2023年10月期2Q	14,940,000株

(注) 当社は、2024年1月15日開催の取締役会決議に基づき、2024年1月23日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数については、2023年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、緩やかに持ち直しているものの、世界的な物価高騰が進むなど不透明な状況は継続しております。

当社が属するフィットネスクラブ業界におきましては、異業種からの新規参入や同業種の新業態による低価格帯ジムの出店など24時間フィットネスジムは引き続き増加傾向にあります。しかし、当社が運営するFIT-EASYは、フィットネストレーニング機器だけでなく、「スタジオ」、「高濃度酸素ルーム」、「ゴルフ」、「ラウンジ」、「サウナ」、「ドライブシミュレーター」、「セルフエステ」、「テニス」、「フットサル」と様々なサービスを展開することにより、アミューズメントフィットネスクラブとして認知されており、これまでの出店で培ったノウハウを活かした店舗開発及びサービス開発、サードプレイス（自宅でもない職場でもない第三の場所）となる店舗運営により、他社とは異なる差別化によりフィットネスクラブ業界でもシェア獲得に繋がっているものと考えております。

また当社では2023年4月より会員ファーストの新サービスとして「オピニオン・ボックス」、「入会・退会アンケート」を展開いたしました。全店舗の会員様の声をフランチャイズ本部である当社がすべて把握することで直営店舗・フランチャイズ店舗の店舗クオリティ維持・原則24時間以内の改善に活用し、より良いフィットネスクラブへと成長していくという決意を込めた展開をしております。

このような経営環境の中、当社は2022年9月に100店舗達成後も新規出店を続け、また効果的なキャンペーンの実施や会員満足度の向上への取り組みを強化した結果、店舗当たり会員数が堅調に推移したこと等により、2024年4月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

#### ■フィットイージー店舗数及び会員数（直営店・FC店 合計）

店舗数(2024年4月30日)	155店舗
会員数(2024年4月30日)	114,703人

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,110百万円、営業利益は899百万円、経常利益は892百万円、四半期純利益は588百万円となりました。

なお、当社はフィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産合計は、4,630百万円となり、前事業年度末に比べ523百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が298百万円、差入保証金が109百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,968百万円となり、前事業年度末に比べ64百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が210百万円増加した一方、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が269百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、1,662百万円となり、前事業年度末に比べ588百万円増加いたしました。これは、四半期純利益588百万円を計上したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。



2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,421,168	1,465,178
売掛金	428,249	726,687
商品	62,737	94,218
販売用不動産等	99,291	—
その他	173,947	247,633
貸倒引当金	△1,135	△1,045
流動資産合計	2,184,260	2,532,672
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	688,876	652,967
その他（純額）	475,561	596,470
有形固定資産合計	1,164,437	1,249,437
無形固定資産	3,991	2,503
投資その他の資産		
差入保証金	456,306	565,703
その他	297,811	280,345
投資その他の資産合計	754,117	846,049
固定資産合計	1,922,547	2,097,990
資産合計	4,106,807	4,630,662
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,304	375,188
1年内償還予定の社債	115,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	239,619	202,846
未払法人税等	298,772	304,177
資産除去債務	8,391	—
契約負債	296,498	298,824
賞与引当金	17,040	20,331
その他	258,314	226,630
流動負債合計	1,397,939	1,542,997
固定負債		
社債	385,000	327,500
長期借入金	720,017	486,875
資産除去債務	110,000	125,371
その他	419,741	485,523
固定負債合計	1,634,758	1,425,270
負債合計	3,032,698	2,968,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	50,000	50,000
利益剰余金	924,108	1,512,395
株主資本合計	1,074,108	1,662,395
純資産合計	1,074,108	1,662,395
負債純資産合計	4,106,807	4,630,662

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上高	3,110,667
売上原価	1,920,200
売上総利益	1,190,466
販売費及び一般管理費	※ 291,262
営業利益	899,203
営業外収益	
受取利息	1,997
受取手数料	3,347
その他	1,138
営業外収益合計	6,483
営業外費用	
支払利息	7,390
上場関連費用	4,000
その他	1,833
営業外費用合計	13,223
経常利益	892,463
税引前四半期純利益	892,463
法人税等	304,177
四半期純利益	588,286

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	892,463
減価償却費	87,770
受取利息及び受取配当金	△1,997
支払利息	7,390
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△89
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,290
売上債権の増減額 (△は増加)	△298,437
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△31,480
仕入債務の増減額 (△は減少)	210,884
契約負債の増減額 (△は減少)	2,325
固定資産から棚卸資産への振替	187,518
その他	△1,322
小計	1,058,315
利息及び配当金の受取額	1,997
利息の支払額	△7,819
法人税等の支払額	△298,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	753,721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△242,049
貸付金の回収による収入	8,974
長期前払費用の取得による支出	△6,054
差入保証金の差入による支出	△110,761
定期預金の預入による支出	△90,000
定期預金の払戻による収入	75,000
その他	11,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,157
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△269,915
社債の償還による支出	△57,500
リース債務の返済による支出	△44,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371,553
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29,009
現金及び現金同等物の期首残高	1,346,168
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,375,178

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。